

青森県地域密着型金融推進プラン(略称:リレバン推進プラン)

～ リレバンの先進県を目指して ～

県内中小企業の金融円滑化に向けた、今後5年間(平成25年度～平成29年度)の県としての基本的な取組方針

本プランの
目指す状態

「中小企業は、金融機関に対し、自社の経営実態等に関する情報を積極的に提供し、金融機関からは、当該情報に基づく最適な金融サービスが提供されている。」という親密な関係を長く維持することにより、県内中小企業がその持てる力を存分に発揮できる金融環境が整っている状態(＝**地域密着型金融の実現**)。

県内の
諸情勢

【社会経済情勢】

- 中小企業数の減少
 - 低水準の貸出金利
 - 貸出金残高の減少
 - 地価の下落
- 企業を育てるビジネス
モデルへの転換必要
→従来型の不動産担保主義に限界

【リレバン・レポートより】

- 試算表は3割、資金繰り表は7割が作成せず
- 金融機関への自発的な情報提供は1割に満たず
- 情報提供を受けた金融機関の積極的対応は7割
- 金融機関のコンサルティング機能への満足度低い

克服すべき
課題

【課題1】

中小企業による的確な情報提供

中小企業が、金融機関に対して、いかに的確に自社の経営実態等に関する情報を提供するか。

【課題2】

適切な資金供給機能の提供

金融機関が、中小企業に対して、いかに適切な資金供給機能を提供するか。

【課題3】

質の高いコンサルティング機能の提供

金融機関が、中小企業に対して、いかに質の高いコンサルティング機能を提供するか。

取組方針

- ①経営者の意識改革
- ②中小企業のスキルアップ
- ③中小企業の経営実態等の提供に係る情報不足の解消
- ④金融機関側の受入体制の強化

- ①不動産担保や個人保証に過度に依存しない資金供給機能の提供
- ②中小企業のライフステージに応じた適切な資金供給機能の提供
- ③多様な資金供給の担い手との連携強化

- ①的確な中小企業ニーズの把握
- ②コンサルティング機能の強化
- ③外部機関との連携による質の高いコンサルティング機能の提供
- ④企業再生支援体制の強化

本プランの
着実な推進
のために

①各機関の連携による取組を強化
「リレバン推進ワーキンググループ」を常設化のうえ、連携実行機関とし、各機関各々の取組と2つの実行エンジンでプランを推進する。

②「リレバン・レポート」の発信強化
「リレバン・レポート」の発信力を強化し、中小企業の地域密着型金融に対する理解を促進する。

③制度金融運営協議会の機能強化
青森県中小企業再生支援協議会をメンバーに加え、地域密着型金融の取組と企業再生との連携を強化する。